



照明探偵団通信

vol. 57 Shomei Tanteidan Tsu-shin

東京調査：皇居周辺の光から闇へのコントラスト

2012.11.05

渡邊元樹、田窪恭子、瀬川佐知子

皇居周辺は東京の中でも暗闇が残っている、特殊な環境です。そんな場所がここ数年、人気ランニングコースとして多くの人が集まってくるようになりました。立地条件から仕事帰りに走るランナーも多く、夜間走る場所に対しての照明はどうかを調査することにしました。また大手町近くの皇居外苑や和田倉噴水公園などでは低炭素社会の実現へ向けて公園内の屋外照明をLED化しています。これらも合わせ、皇居周辺として調査しました。

■調査エリアについて

皇居を1周するコースは約5kmあります。今回は大手門から反時計回りに歩き、大手門エリア、竹橋エリア、代官町通りエリアを重点的に調査しました。また公園、広場の光環境調査として皇居外苑、和田倉噴水公園も合わせて調査しました。

■調査エリア1：大手門エリア

大手門エリアは幅の広い内堀通りと公園に囲まれており、視界が開けている場所になります。昼間は東京駅周辺から公園の間にたくさんの観光客が見られました。大手門エリアの歩道は約3.5mあり、ゆったりとしたスペースになっています。基本的に歩道用のポール灯はなく、車道の中央分離帯に立っている高さ10m程の道路灯からの光で、歩道までの明るさを確保していました。道路灯の真下で70lx、歩道の中央で14lxの床面照度が確保されていました。道幅も広く10lx以上の明るさがあるため、ここではランナーが走るには十分な明るさだと思いました。また、道路灯や周辺ビルからの光で皇居のお堀や石垣もうっすらと浮かび上がっていました。

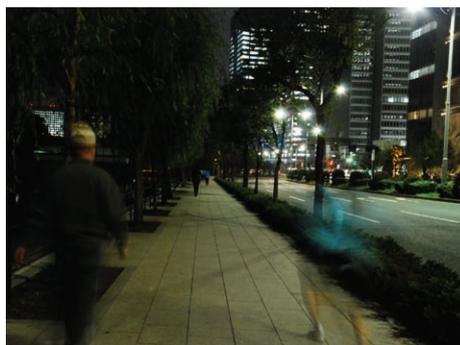
(瀬川佐知子)



調査エリア全域地図

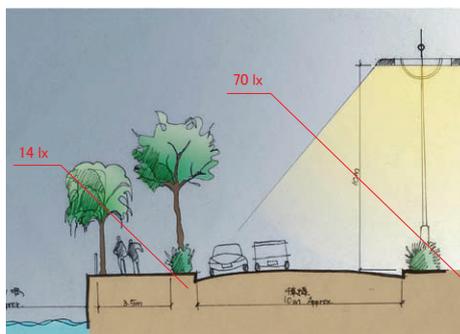
■調査エリア2：竹橋エリア

気象庁前の交差点を曲がるとそこは大手門エリアとはまた違った雰囲気となります。高さ7mの車路灯が満遍なく配置され、高さ3.5mのポール灯も歩道の明るさを取るために23m間隔で配置されています。また、休憩エリアや竹橋にも凝ったデザインのポール灯が辺りを照らしていました。周辺の建物は、オフィスから美術館や公園に代わり、周りからの明りには期待できないものの、ランナーに必要な明るさは保たれているように感じました。

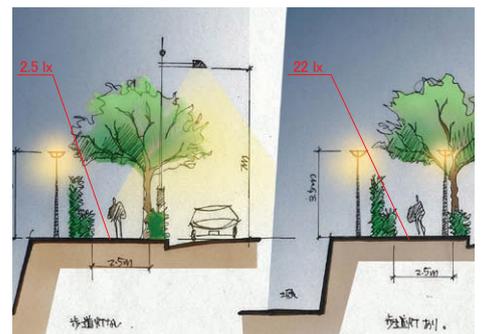


■調査エリア3：代官町通りエリア

皇居周辺の歩道で一番印象に残ったのは代官町通りのエリアです。このエリアは内堀通りから外れるため隣の車道も狭くなり、歩道も他のエリアより狭くなります。また皇居側には2m程度の高い生垣があり、開放感がありません。歩道が狭いためか、歩道用の照明器具はなく、生垣の向こう、皇居側に3m程度のポール灯があります。おそらく皇居周辺にあるお堀代わりにになっている窪地があり、そこを防犯上の理由で照らしているのではないかと思います。



調査エリア1：大手門エリア（夜間）



調査エリア3：代官町通りエリア（夜間）

このポール灯は人が通る歩道への環境はまったく考慮されず立てられたのか、灯体だけが生垣から出ており、歩いているとかなりのグレアを感じます。また高い生垣のため、ポール灯間では 2.5lux と暗く感じる場所もありました。隣の車道とも高低差があり、車路灯も少し遠くに感じられ、生い茂る木々に阻まれ周辺からも明かりが得られないこの場所は走るのには問題ない明るさとはいえ、もう少し歩行人にやさしい光環境ができなにかと思いました。

(田窪恭子)

■調査エリア 4：和田倉噴水公園

日中の和田倉噴水公園ではウッドデッキや休憩室、レストラン等が設置され、会社員や近所に住む主婦、老人たちが集い、スケッチをしたり、ランニングやストレッチをしたりなど、思い思いの時間を過ごしていました。夜になり調査を進めて行く中で他の公園と何かが違うことに気付いたのですが、この公園にはポール灯が一本も無いことでした。レストラン脇にある唯一のポール灯も点灯していませんでした。照明器具はLEDを用いており、色味もほぼ 3000K に統一されていました。水中照明は、グレアに気を使った設置がされていて、噴水照明も丁寧に水中からアップライトされるなど、一つ一つのアイテムが下方向から照らされ公園内を歩く人のシルエットだけが映し出され非常に心地良い光環境に思えました。

■調査エリア 5：皇居外苑

皇居外苑に立つポール灯は灯具の形状は元々のガス灯タイプのまま、ランプのみ高圧ナトリウムランプからLEDにリニューアルされています。ポール灯に挟まれた通路中央の照度は1~2lxと低いものですが、ポール灯内には26WのLEDモジュールが6つ入りそれぞれの方向を向いているため照射範囲が広くなりそれによって公園全体の暗さを感じることはありませんでした。

(渡邊元樹)

■まとめ

皇居1周分の調査はできませんでしたが、以上のエリアの調査から、歩道にポール灯がないところでも周辺からの光でランナーのための光問題がないことが分かりました。ただ、代官町通り周辺や皇居の各出入口などは歩行人にあまり考慮されていないグ

レアを感じる光もありました。

皇居という特殊な環境のため、仕方がないところもあると思いますが、もう少しフレンドリーな雰囲気があってもいいのではないかと感じました。

私たちが調査したのは月曜日の夕方でしたが、19時頃に数えてみると1分間に34人のランナーが私たちの前を通り過ぎていきました。皇居周辺のランニングブームはまだまだ続きそうです。

皇居外苑や和田倉噴水公園では指向性が強いというLEDの特徴を逆にうまく利用し、昔ながらのポール灯デザインとマッチした温かみのある落ち着いた光が印象的でした。グレアに考慮した計画だと思いました。また、背景となる大手町周辺のビル群も他の場所と比べて低い色温度で統一されており、ビルの上部分も統一感があるデザインとなっていました。

皇居という他の場所とは違う意味合いをもつエリアでの照明は必ずしも歩行人が第一優先ではなく、場所によっては防犯の意味合いをもつ光の方が優先されています。今後は和田倉噴水公園や皇居外苑のように夜も心地の良い光環境が増えればと思います。

(渡邊元樹、田窪恭子、瀬川佐知子)



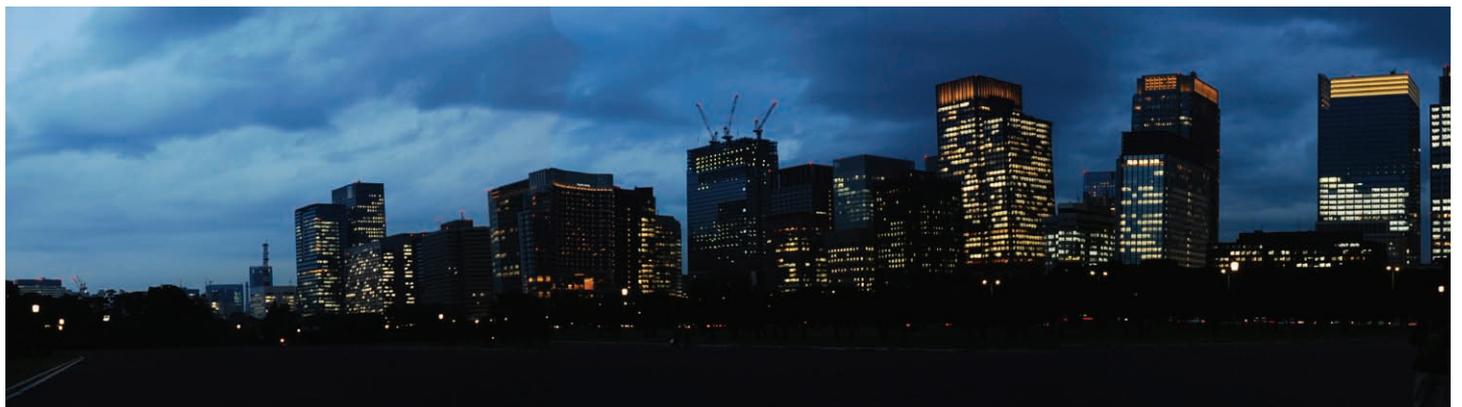
調査エリア 3：生垣の向こうにある代官町通りエリアのポール灯



皇居外苑のポール灯



和田倉噴水公園



皇居外苑から見える大手町のビル群。他のエリアと比べて比較的温かみのある色味で統一されています。パノラマで撮ると皇居側（左下側）は真っ暗なことが分かります

第39回研究会サロン：@照明探偵団事務局

2012.11.13

瀬川佐知子、東悟子

11月13日に行われた「浅草・スカイツリー街歩き」のまとめのサロン。各班ごとに写真や感想がまとめられ、プレゼンテーションが行われた



2班が歩いたルート

■街歩きの報告・来年の活動を検討

今年最後の照明探偵団活動は、スカイツリー・浅草街歩きをレビューする研究会サロン。カジュアルな雰囲気の中、25名と多数参加頂いてのサロンとなり、さまざまな意見・感想ができました。

一番多く聞かれた感想は、スカイツリー開業に合わせて周辺の街路灯もLED化が進んだと思われるが、光源を変えただけで心地よい光環境になったわけではなく、かえてまぶしくなってしまったのではないかという意見。そのグレアでせっかくのスカイツリーのライトアップも台無しになっているように感じた。ソラマチなどはLEDを使用しているためか、「節電モード」ではなくなり、かえて明るくしている部分も見られたなど、あまりいい意見が聞かれませんでした。また、浅草の下町に存在するさまざまな種類の照明が、統一感はないが、独特のにぎわいを演出し、気取らず親しみやすい浅草をつくっているのではないかという意見。

一方向の意見にまとめてしまうのではなく、感じたことを語り合い、それに対する意見をまた交換する、そんな内容の濃い会になりました。

来年の活動に対する意見交換も行われ、どのような街歩きをやりたいか、街歩き以外の活動は何をやりたいかなど、希望が多く聞かれました。実り多い活動にするために、さらに検討していこうと思います。

サロンに参加頂けなかった団員の方の、企画・意見も随時募集しておりますので、事務局宛に、お寄せください。お待ちしております。

来年の照明探偵団活動にも、是非ご期待ください。

(東悟子)



サロン風景



サロン発表内容

【照明探偵団の活動は以下の 19 社にご協賛頂いております。】

ルートロンアスカ株式会社
岩崎電気株式会社
カラーキネティクス・ジャパン株式会社
パナソニック電工株式会社
ヤマギワ株式会社
マックスレイ株式会社
DN ライティング株式会社
エルコライティング株式会社
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
東芝ライテック株式会社
コイズミ照明株式会社
マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社
タルジェットイ ポールセン ジャパン株式会社
株式会社遠藤照明
湘南工作販売株式会社
トキ・コーポレーション株式会社
山田照明株式会社
株式会社ウシオスペース
三菱電機照明株式会社



探偵団通信に関してのご意見・ご感想等随時受付中です！

お気軽に事務局までご連絡ください。